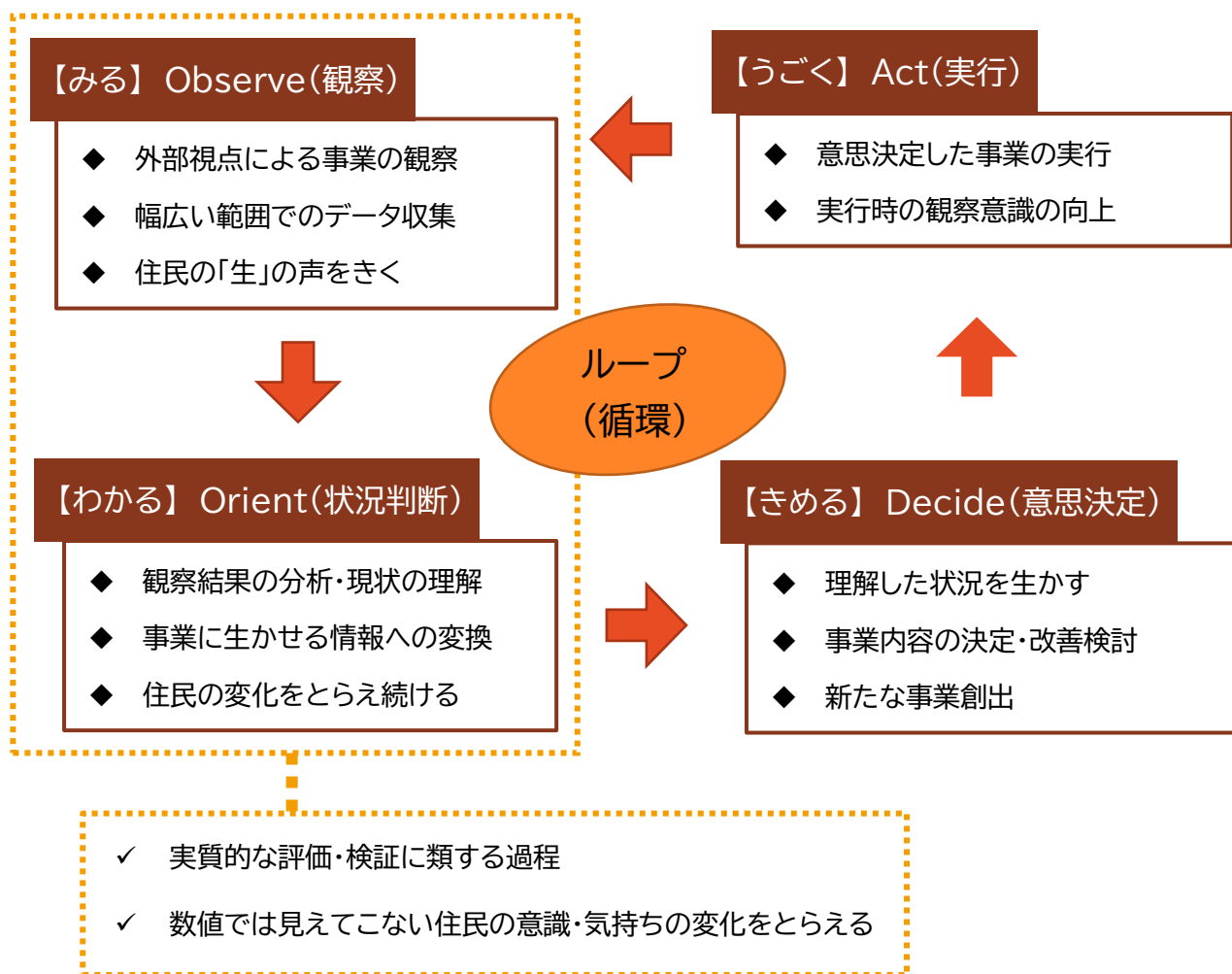


## 第5章 計画推進サイクル

### 5-1 OODA<sup>ウーダ</sup>ループによる推進

第3章で示した目指すべき「子ども像」「おとな像」の実現を、数値として計ることは困難です。本プランにおいては、数値的成果にとらわれず、目指すべき将来像の実現に向け、主人公である住民を常に観察し、その変化を的確にとらえ事業を実施していく『OODAループ』の理念に基づき、計画を推進していきます。

目まぐるしく変化を続け、先が読めない現代社会。情報化社会は「Society5.0」の時代へと急速に進化し、人口減少、少子高齢化が深刻化。本計画で中長期的なビジョンを明確にもち、将来像を定めた中で、具体的な事業はフットワークを軽くし、臨機応変に対応します。OODAループを繰り返す実践することで、将来像の実現へと近づけることを目指します。

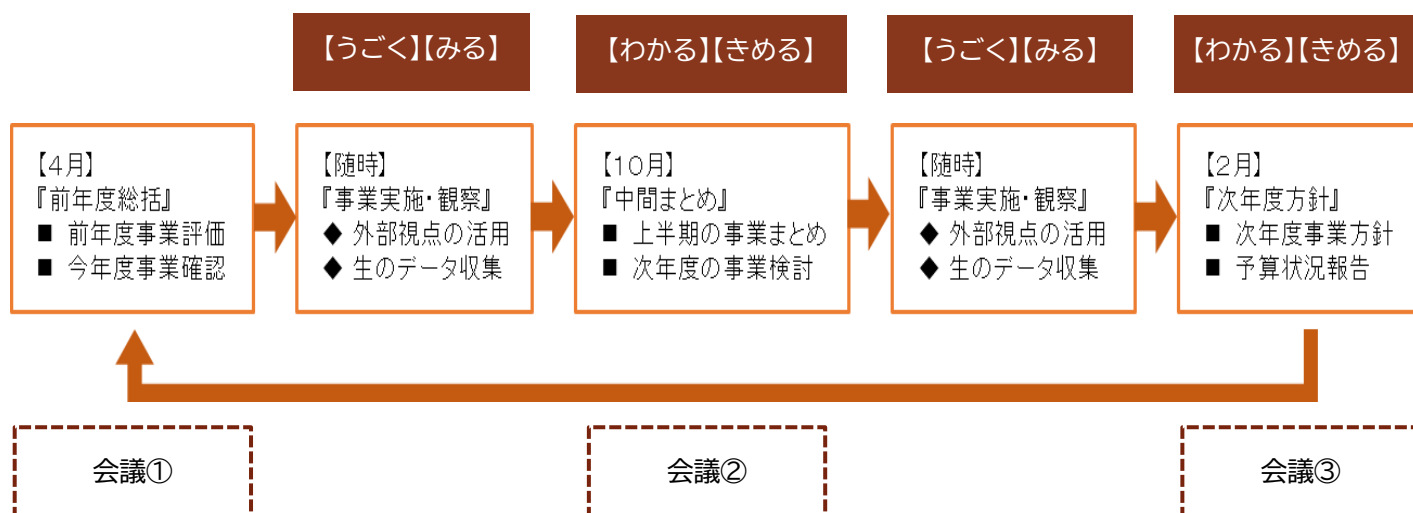


本プランは、時代や社会の変化に対応しながら、目指すべき「子ども像」「おとな像」の実現、人の心・気持ちの育みという、行程の明確化が難しいことをふまえ、従来のPDCAサイクルとは異なる推進サイクルとしました。

下記に示した年間サイクルに基づき、定期的に社会教育委員兼公民館運営審議会を開催し、計画を推進していきます。また、会議のみならず、関係団体（文化協会、体育協会、スポーツ推進委員会、文化財審議会など）との連携、情報交換を日常的に行いながら、【みる】【わかる】部分の充実を図ります。

随時実施する事業観察については、行政のみならず、策定委員や運営主体、参加住民など、様々な視点から行うことで、次へつながる“生かされるデータ”の収集に努めます。

#### 【年間サイクルのイメージ】



## 5-2 総合振興計画との関連性

総合振興計画においては、毎年度ごとの事業ローリングにより、進捗状況や評価・検証が行われます。本計画では、次項で示す「事業シート」を活用してOODAループにより推進していきますが、実質的な評価・検証に類する【みる】【わかる】、事業改善・決定に類する【きめる】【うごく】との関連を明確にして取り組みます。

### 5-3 毎年度の事業総括

年度ごとに実施する事業については、各事業での「事業シート」により、OODAループの【みる】から【うごく】までの見える化により、総括につなげます。

《シート① 事業の概要を記載》

社会教育アクションプラン事業シート

事業名	具体的な事業名				
カテゴリ	第4章のカテゴリ 例) 4-2-2 『青年・壮年期』				
事業概要	【対象】 【内容】 ・ ・ ・ 【時期】 事業の詳細				
予算額	年度の予算額				
重点施策該当	( ) 第4章の重点施策該当の有無				
年次計画	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		事業を推進する期間 該当に「○」			
展開プログラム	当該年度におけるスケジュール 例) ●月上旬 第1回会議開催 ●月下旬 第2回会議開催 ●月●日 「○○○」実施当日				

《シート② OODAループの進捗状況を記載》

<p>【みる】 観察経過</p>	<p>※観察から見えてきた現状や課題</p> <p>例) 定員●人に対し●人の参加あり。予想より関心は高い。 参加者から「~~~~~」との声があげられていた。</p>
<p>【わかる】 状況判断</p>	<p>※観察経過の分析、事業への生かし方</p> <p>例) プログラムにおける○○○は▲▲▲のほうが良いのでは。 「~~~~~」の部分に○○○を付け足してはどうか。 《自身もつ経験や文化、歴史的背景と観察データを統合》</p>
<p>【きめる】 意思決定</p>	<p>※状況判断をふまえた事業内容決定・改善 ※事業により得られる直接的効果・理解度</p> <p>例) ○○○を▲▲▲に組み替えて実施してみる。 事業目的と方向性がずれており見直しが必要。 《考えられる選択肢から一番効果的なものを選択し決定》</p>
<p>【うごく】 実行</p>	<p>※次年度以降に向けた実行方法 ※実行により期待されるアウトカム</p> <p>例) ●月の実施に向けて展開する。 実行による「~~~~~」の効果を期待する。 《次の【みる】に向けデメリット部分も受け入れる》</p>